

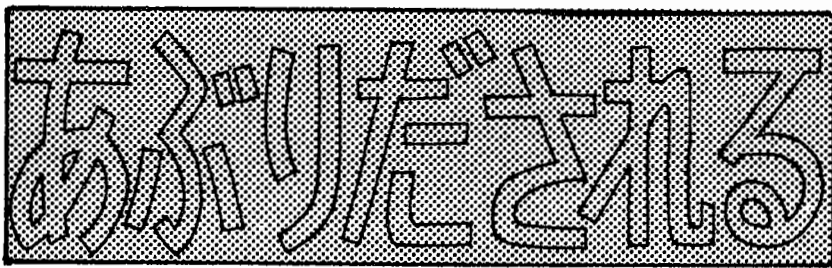


千葉労働者

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(22)7207番
※ 電話番号は4月29日から変更になります
02.6.16 No. 3610

貨物関東支社経営計画を提案 (6月5日)



労働強化 精神主義の姿!

六月五日JR貨物関東支社は、「平成4年度経営計画」を提案してきた。その中身は、I、目標、II、具体的実施事項、III、将来に向けての課題、の三章構成となっている。

これで魅力ある会社!?

風通しのよい職場!?

第一章の「目標」の項では、「魅力ある会社づくり、風通しのよい職場づくり」のため、「貢献利益・収入の確保」に取り組み、「仕事の仕組み、やり方」を変えることによって、「事故・ミス」のない職場を実現することとしている。特にここでふれておかなければならないことは、「労働時間短縮という時代の流れに沿い、生活の充実と魅力ある会社づくり」ということである。

「分割・民営化」によって、自前の線路を持たないがゆえに、貨物会社の乗務員の勤務は極めて不規則であり、深夜帯に集中するなど、まともな睡眠(仮眠)さえ取れないのが実情である。

旅客会社のダイヤの間をぬってスジを組むなどというこの解決抜きにして、「生活の充実」も「魅力ある会社づくり」も、実現不可能と言わざるをえない。であるがゆえに、労働条件の改善そのものが急務であって、時短も要員増を大きく伴わなければならないのだ。

**乗車証制度を見直し
手当の格差改善を!**

さらに乗車証の見直し(関東圏程度等)や手当の格差改善なくして、本当の意味での生活の充実・魅力ある会社など望むべくもない。

出向と合理化を画策!

第二章の「具体的実施事項」の項は、

- (1)「魅力ある会社づくり、風通しのよい職場づくり」、(2)営業施策の展開、(3)関連事業の問題点と今後の展開、(4)「仕事の仕組み、やり方」を変える、(5)「事故・ケガ・ミス」のない職場づくり、について多岐にわたって列記されている。

ここで問題なのは、(1)の⑤でふれられている「他企業・他職場」の見学の中に、「自分の仕事はきつい。出向はイヤだ。他職場の仕事は楽だ。などという社員がかなり見られる。これらは、自らの殻にとじこもり、他を知らないからである」と規定していることである。

まさに出向=首切りのための先鞭をつける攻撃であり、精神主義の強制である。

検査周期延伸で

安全はどこへ!

又、(4)の「仕事の仕組み、やり方を変える」では、抜本的見直しとして、休日ダイヤの検討(出削減などの作業体制見直し)、「コンテナ扱と車扱」「営業と構内」等の兼掌化、直営業務と委託業務の一元化等があげられており、とりわけコストダウン施策として、機関車修繕コスト削減のために検査周期延伸を計画している。恐るべき安全無視と労働強化が実施されようとしているのだ。

基地統廃合を計画!

第三章は将来計画であるが、経営的に最適な現業機関の配置を考えると、

基地配置そのものを検討課題とし、新型機関車の導入、勤務制度等も検討するとしている。

以上みてきたように、貨物関東支社の経営計画は、「魅力ある会社・風通しのよい職場」などの美辞麗句を並べたてながらも、精神主義と労働強化の姿が浮かびあがってくるのである。

反合・運転保安確立の

闘いを強化しよう!

貨物から反転・攻勢の闘いへ!
反合・運転保安確立の闘いへうって出よう!

6・27国鉄労働者集会

日時 1992年6月27日(土) 14時から
場所 東京・南部労政会館(大井町駅下車)
集合 千葉駅 12時34分(9番)発
快速最後部車両乗車

最大限での結集を!